

日美三二通信

- 【今月のメイン記事】
- PP加工の悩み解消!
 - 檜の香りの名刺。
 - 美味しい色。



H-UV機で
お悩み解決!!

気泡を一掃!クリアなPP加工を実現。

カタログやパンフレットの表紙加工でよく使われるPP加工(※)。

あるお客様より「他の印刷会社で印刷後にPP加工してもらったんだけど、用紙とフィルムの間に気泡が入っていたので入らないようにお願いします」というご相談を頂きました。

当社においては、そのようなクレームを過去にいただいたことがありませんでしたので早速原因を調べました。

すると気泡が入るのには次のような原因がありました。

①印刷時に用紙と用紙がくっつかないようにするため使う「パウダー」が紙に残った状態でPPをかけるとその周辺に気泡が出やすい。

②印刷後、乾きが不十分な状態でPP加工を行うと、用紙とインキの間からガスが発生し、そのガスが気泡になる。

以上の2点が主な原因でした。

そこで、この原因を解消し、気泡が入らないようにするため「H-UV印刷機」で印刷することにしました。

H-UV印刷機であれば紫外線でインキを瞬時に速乾するため、パウダーの散布も必要なく、乾きが不十分ということもありません。印刷後、PP加工をしても気泡は入らないということとなります。

結果、お客様から気泡の件でクレームをいただくこともなく無事納品となりホッと胸をなでおろしました。

今回の気泡の件以外でもH-UV印刷機の利点は様々あります。新鋭機を最大限に活用しお客様の悩みを解決できるように研究と努力を重ねて参ります。



PP加工を施した様々な表紙

※ポリプロピレン加工のことで、ラミネート加工の一種です。光沢性や強靭性に優れキズ等から表紙を保護し、長期保存にも耐える加工です。光沢のあるクリアPPと光沢を抑えたマットPP加工があります。

お客様サポート部 宮澤

リラックス...

木の
香りを手
渡す!

名刺で森林浴?!

水に強くて
剥がれにくい
!!

冷凍食品には
冷凍用シールで!!

建築業のお客様から木に印刷できないか?というご相談を頂きました。お客様は木材を使ったお仕事が多いので、木の名刺を作成して、お客様などにお渡しする際、建築業としての印象をしっかりと残したいということでした。

名刺の台紙には様々あり、紙の他に木を素材とする台紙もあります。木の種類はひのき、桐の2種類があり、今回は建築材として馴染みの「檜(ひのき)」をお選びいただきました。

印刷も綺麗に出来上がり、納品前の検品をしている時にあることに気がきました。それは檜のいい香りがすることです。

まるで新築の家の香りがして、頭がスッキリ冴えて気分は森林浴!これなら受け取られたお客様も、「この建築屋さん頼もうかしら」となりそうです。

最近、凝った名刺を作られる方も増えてきましたが、今回は「建築業と木」というベストマッチの組み合わせでした。

名前や住所を覚えてもらえるだけでなく印象を残せる上、リラックスも出来る木の名刺...皆様もいかがでしょうか?。



紙のように薄い木でできた名刺
(左:桐/右:檜)

お客様サポート部 畔上

以前お土産屋を営むお客様から、「冷凍商品のラベルが、ボロボロになってしまう」というご指摘を頂いたことがありました。

冷凍商品なので解凍した後、表面で凍った水滴も融けて、貼ってあるラベルシールが破れやすくなってしまいうようでした。

そこでシールの表面にPP加工した商品をご提案させて頂き、ボロボロになることを防ぎました。

またシール自体も通常のシールとは違い冷凍専用のシールを使用しました。

冷凍用のシールは冷凍庫などの極低温下で保存しても、粘着力が低下しないため簡単に剥がれることはありません。

お客様にはその後、問題なくご使用いただいておりますが、冷凍、解凍、いろいろな場面を想定し用紙や印刷方法を考えなければならぬ...と改めて教えて頂きました。

お客様サポート部 春原

生まれ育った環境で違う…

美味しそうなお米の色は…!

前回のこのコーナーで「おひな様の顔色」の話題をお伝えしました。色は印刷にとって重要な要素。色の再現は難しい仕事のひとつです。

スーパーのチラシから、ホテルのメニューや食品カタログ、あるいはレシピ集など、食品…食べ物、飲み物を印刷する機会は大変多くあります。

食品にはある程度決まった色…例えばイチゴなら赤、バナナなら黄というようにイメージする色がありますが、それも品種などによって微妙に変わります。印刷ではその違いを出すことも重要です。

お米（ご飯）の写真が載ったポスターを印刷したとき、刷り出しの色合わせで見本と見比べて「もう少し黄色が強い方がいいかな」という意見に、実家が兼業農家の社員が「家で採れる米で炊いたご飯はもっと白い」と感想を述べました。その社員の実家の土地は黒土で稲作には

適さず、米の味も淡泊だとのこと。品種もどうやら違うらしくそれがご飯の色の違いにことなつたようです。

ご飯の色…というとなしもが「白」をイメージしますが、その白さも普段の食生活や、育ってきた土地、環境により微妙に違う物だと思いました。

食品の印刷は対象物の色の再現もさることながら、「美味しそう」が大切な要素。実物よりも美味しそうに見える様に色の調整に取り組んでいきます。



雪の多い年は豊作!

デザイン&プロセス課 田中

行ってみるとこんな違いが

博多編 Part2

お国が違えば…

夜にゴミの収集があるなど「博多」のカルチャーショックを以前に掲載致しましたが、もう一つ驚いたことがあったので報告させていただきます。

実は一番驚いたのが、福岡の人はバスや電車を並んで待たないことです。バスを待つにも列らしいものがなく、バス停に群がっていて、バスが来ると好き勝手に乗り込んでました（もっとも長野と違い地下鉄、バスともに数分に1台。頻繁にくるので順番とか気にしないのかもしれませんが）。新幹線のホームでも列車待ちのラインに沿うことなく、気ままに待っていました。

博多の人は気持ちがおおらかで、細かいことを気にしないのかもしれないですね。

博多のバス待ちはバラバラ。▶



デザイン&プロセス課 千葉

ちょっと…お出かけ情報

4月上旬～中旬
木島平村
では…

可憐な福寿草が見頃です!

4月上旬、奥信濃に待望の春を告げる福寿草が、木島平村・原大沢地区の福寿草群生地(御碓山)で見頃を迎えます。福寿草は同村の「村花」でもあり「福寿草まつり」も行われます。2014年福寿草まつり 4月13日(日)開催

【お問い合わせ】木島平村観光協会 電話:0269-82-2800



外で見かけたこれはなんだ…!?

今月の WANTED

久しぶりの看板編



長野～上田間の国道18号線沿いにあるペットショップの看板です。

「水槽本数もうすぐ1000本」というキャッチコピーが「おっ」と思わせませす。「もうすぐ1000本か…いつ1000達成!と変わるのかな」と見る度に思ってしまうのは私だけでしょうか?!

私のお気に入り Vol.10

My Favorite ○○

私のフェイスバリエーションは、家庭菜園です。家の近所の畑を借りて、野菜を作っています。春がきて、これからの夏野菜を考えると、ウズウズしてきます。

特にジャガイモが楽しいです。ジャガイモ自体の成長は見れませんが、毎日大きくなる葉や茎をみて、下に眠るジャガイモに期待しています。

また、去年は、メロンに初挑戦しました。しかも、こぶしぐらいの小さな本格的なメロンです。小さくても、味はとておいしく、毎日大きくなる姿をニヤニヤして眺めていました。

今年は何を作ろうか? 今から楽しみです。



お客様サポート部 春原

編集後記



この春、一番上の娘が短大を卒業し4月より保育士として働き始める事となりました。

半人前とはいえ、いよいよ社会人デビュー。卒業式当日、「この際一言…」といきたいところでしたが言葉があまり出てきません。

小さな頃を思い出したり、小中高と成長する姿を思い返したりと…。やがて「俺はさびしいのか…」と思いつき、なんだか不思議な気分になりました。この調子だと嫁に出すときは如何ばかりか。我ながら先が思いやられます。

今月お読み頂きありがとうございました。

デザイン&プロセス課 田中

株式会社日美印刷

〒381-0026 長野県長野市松岡2-6-36

☎026-222-6900/FAX026-222-6903

E-mail: info@nichibi-p.com

Web: www.nichibi-p.com